

重信川自然再生事業（中間報告） ～開発霞の自然再生～

Keywords : 小川再生, 霞堤, モニタリング

Before



開発霞（魚道部）施工前



After



施工から約4年後

瀬切れ拡大等による生物環境が悪化し、水生生物の生息場所である湿地環境を再生する必要が生じた。そのため、水生生物の生息環境に配慮し、階段式魚道や段差解消といった小川等の整備を進めている。また、生物の生息環境だけでなく、人の利活用にも配慮して整備を進めており、設計・施工時の工夫点やモニタリング結果等について中間報告を行う。